

2021年5月27日

三菱電機アマチュア無線クラブ創立55周年記念局

東日本エリア(8J1ME)運営事務局

代表者 JO1XPH 山田 善博

創立55周年記念局8J1ME 運用者各位

8J1ME 運用規定

三菱電機アマチュア無線クラブ創立55周年記念局「8J1ME」を運用する方は、下記を遵守して運用していただきたく、本運用規定を制定致します。

1. 記念局8J1ME運用の基本

運用にあたっては、本規定及び電波法と関連規則並びにJARLバンドプランを遵守して下さい。

2. 記念局8J1MEの概要

記念局8J1MEは、既設の社団局JH1ZVP(三菱電機鎌倉アマチュア無線部)の変更申請(識別信号=コールサインの変更)により、『行事等の開催に伴い臨時かつ一時の目的のために運用するアマチュア局=記念局』として、総務省関東総合通信局から無線局免許を受けたものです。

免許発給後、東日本エリア運営事務局が管理して運営をする局です。

1) 常置場所

移動局として開局します。常置場所はJH1ZVPの常置場所(神奈川県鎌倉市)と同一です。

2) 運用期間

運用期間は、2021年6月1日から2021年12月31日です。

3) 運用者

三菱電機アマチュア無線クラブを構成する各場所クラブのうち、以下に示す東ブロックのクラブメンバーで、社団局8J1MEの構成員として登録した人を主たる運用者とします。

下記以外の三菱電機アマチュア無線クラブのメンバーも、申し出により運用者とします。

ex. JR1ZJJ(群馬) / JM1YGG(東京) / JA1YJA(大船)
/ JH1ZVP(鎌倉) / JA2YPV(静岡) / OBクラブ(名古屋)

4) 東日本エリア(8J1ME)運営事務局

記念局8J1MEの運営事務局は、下表のとおり、代表者、運用マネージャー及びログ・QSLマネージャーで構成します。事務局構成は、三菱電機アマチュア無線クラブのホームページ内、**創立55周年記念事業のページ**に掲載します。

委員	所属	コールサイン	氏名	役割
代表者	鎌倉	JO1XPH	山田 喜博	運用統括を担う
副代表者	鎌倉	JG1BBD	小野 満	代表者の補佐を担う
運用マネージャー	正：鎌倉	JK1JAS	香山祥次郎	運用期間配分、全体の運用スケジュール調整を担う
	副：大船	JL1EGW	君島 達也	

ログ・QSL マネージャー	正：東京	JR3OET	横須賀良夫	運用ログ、QSLカードの管理及びQSO数の分析等を担う
	副：鎌倉	JA1FYA	浜口 忠彦	
無線局の 更新マネージャー	鎌倉	JK1EBA	長谷川 晃	8J1ME の無線設備の増設及び構成員の追加などの申請および総務省と折衝
運用責任者	各場所クラブの代表者			各場所クラブ単位で運用ログ記入及びQSLカード発行等の責任を担う

3. 運用スケジュール管理

- 1) 記念局 8J1ME は、三菱電機アマチュア無線クラブ創立 55 周年を記念する全体行事であり、記念局を運用することにより、各場所クラブのアクティビティを高めることを目的とすることから可能な限り多くのメンバーによる運用を目指します。
- 2) そのため、8J1ME 運用マネージャーは、あらかじめ登録された運用希望者に運用日時を 2.5 時間単位で「仮シフト」として割当てする。**運用希望者は事務局にて別途募集**します。「仮シフト」割当てに際しては、土・日・祝日にしか運用が出来ない方々に配慮する。水曜日の午後も同様に現役メンバーに配慮する。
- 3) 割当てられた「仮シフト」時間帯に運用が無理な場合は、割当てられた時間帯を早めに開放し他の運用希望者が運用予約出来るように配慮する。
- 4) 運用管理においては、Google Calendar の機能を活用するので、運用希望者は Gmail のアカウントを取得し、運用希望の申告時に 8J1ME 運用事務局に連絡しておくことが望ましい。
- 5) また、運用予約時間の前後 30 分は必ず開けることとし、同時送信を絶対に避ける。具体的な運用管理の手順については、**本規定別紙 1 「運用管理の手順」**による。
- 6) 運用マネージャーが運用上の問題を発見した時は是正措置を行う。
そのため、運用マネージャーはいかなる時も無条件に予約を取り消すことができる。これは google カレンダーの記載より優先する。
- 7) 運用者は運用開始の直前に運用しようとする予約が有効なことを再確認する。
また、運用者は運用の途中であっても予約が存在しないことを知ったときは、直ちに運用を中止する。

4. 記念局を運用するにあたっての注意事項

1) 無線設備

使用する無線設備は、運営事務局に予め届け出をし、許可された無線設備を使用すること。
また、運用に際しては、運用者の無線従事者資格の範囲で使用できる無線設備を使用すること。

2) 無線従事者免許証

記念局 8J1ME を運用する際、運用者は無線従事者免許証と局免許状の写を携帯すること。

3) クラブメンバー以外の方による運用

記念局 8J1ME は JARL の特別局ではありません。従って、JARL 会員か否かに関係なく、所定の無線従事者資格を保有しておれば、運用責任者の立会のもと、ゲストオペレータとして運用できます。詳しくはゲストオペレータ制度(電波法施行規則第 5 条の 2 関連告示)の下記の URL を参照下さい。
http://www.jarl.org/Japanese/2_Joho/2-2_Regulation/guest_op.htm

なお、ゲストオペレータによる運用は QSL カード印刷代等として 500 円を徴収することを原則としています。また、ログと QSL については、立会のクラブメンバーの責任で必ず発行する。

4) 記念局 8J1ME の運用の実際

運用者は各無線機に備え付けた「**コールサインボード**」に従い CQ を出し、交信の際はレポート (RST) 及びオペレータ名を送出し、JARL 経由による QSL カード発行を約束します。

交信が次々に続いている場合でも、時々(10 分に一回程度) **8J1ME** の紹介をコールサインボード

に従い行います。このボードは電話での交信を想定していますが、電信の場合もこれに準拠します。
交信結果は、日時・交信相手方・周波数（バンド）・モード・送受 RST、相手局 OP 等の必要事項をログとして記録する。

5) 運用上の注意

運用者は品位のある言葉を使い、多くの局が呼んできた時はコールバック以外の時は、電波法の許容範囲内で双方のコールサインも省くなど無駄な言葉を排し、テキパキと交信して下さい。

呼んでくる局が少ない時は、相手により、コールサインボードを見ながら、三菱電機アマチュア無線クラブの歴史や、今回の 55 周年記念事業の内容などを相手局に伝えて下さい。
今回の記念局は「地域社会への貢献活動（情報発信の支援）」を事業内容のひとつとしています。
三菱電機 AMC の HP 「55 周年記念事業」のページをご覧頂く様、アナウンスをしてください。

「QSL カードはこちらからだけ JARL ビューローへ送りますが、そちらからのカードは不要です」と言い、「こちらから一方的に送ります」は、品位が無いので使わないようにしましょう。

6) 運用終了後

運用者は、記入したログを QSL マネージャーに提出すること。
記入したログに基づき、運用者が QSL カードを発行すること。

7) コンテスト参加

開催中のコンテストには参加出来るが、書類提出はチェックログとして提出して下さい。
詳しくは各コンテストの規約を確認して下さい。

5. ログ・QSL 発行について

記念局 8J1ME の運用に際するログと QSL カードは適切に記録・発行する。
ログは Turbo Hamlog を基本とし、運用終了後速やかにログ・QSL 管理者に送付する。
QSL カードは、運用者が記入（印刷）し、JARL に直接送付することを基本とする。
ログ及び QSL カードの細部発行要領は、本規定別紙 2 「ログ・QSL 管理編」を参照下さい。

6. その他

上記に規定されていない項目で問題が生じた場合、その都度、記念局(8J1ME)運営事務局及び記念局(8J3ME)運営事務局で協議の上、取り決めると共にこの規定を改定します。
疑義が生じた場合の連絡先は、本規定 2 4) 項の 8J1ME 運営事務局記載の各局。

★ 三菱電機 AMC ホームページ <https://melcoamc.jp/> に「創立 55 周年記念事業」のページを開設
東日本エリアで、8J1ME（常置場所：鎌倉市）が、運用期間 2021 年 6 月 1 日から 12 月 31 日の間、運用します。
三菱電機アマチュア無線クラブの HP にはクラブ紹介、記念局案内及び運用スケジュール等が掲載されます。

文責：記念局(8J1ME)運営事務局
原案：JN3NXL 吉田 勉
編集：JL1EGW 君島、JK1JAS 香山（まとめ）
ログ・QSL 部分の詳細：JR3OET 横須賀

以上

別資料「8J1ME コールサインボード」としても用意していますので、
運用時は常に手元に置いて運用してください。

1. 呼称 日本語：三菱電機アマチュア無線クラブ「創立55周年」記念局です。
英語：Special event station to celebrate 55 years of Amateur Radio Club of
Mitsubishi Electric Corporation
CW運用 CELEBRT 55YRS OF MITSUBISHI ELEC HAM CLUB
2. 運用に関する情報・・・
 - ・開局趣意 三菱電機 AMC 創立55周年記念事業として地域社会への貢献活動に取り組む。
三菱電機発祥の地兵庫県の後援を頂き、兵庫県の地域日本遺産の情報発信を
支援しています。
詳しくは三菱電機アマチュア無線クラブのHPをご覧ください。
検索サイトで「三菱電機アマチュア無線」で検索してください。
 - ・運用期間 8J1ME：2021/6/1 00:00 ～ 2021/12/31 24:00
 - ・運用周波数、モード HF/VHF/UHF CW/SSB/FM/RTTY/SSTV/FT8
 - ・運用場所/エリア 移動局：主に東日本及び中部地方において運用するが、全国へ移動も可能
 - ・姉妹局 8J3ME が西日本地区を主に、3エリア以西のメンバーにより運用中。
 - ・姉妹局運用期間 8J3ME：2021/6/1 00:00 ～ 2021/12/31 24:00
 - ・記念 QSL 55周年記念局・個人局カードは類似にし、連動運用をイメージさせる。
クラブに関わるアワードはない。
3. 想定問答 (Q&A)
 - ・クラブ員総数 過去データで35年前がMAX700余名。
現役社員、関連会社員及びその退職者で構成、約350名
現在の代表者は三菱電機鎌倉の無線クラブ(鎌倉)
 - ・運営方法 本部制度はなく、2年交替で代表役を交替、約20年で一巡している。
 - ・活動状況 土曜 HF/日曜 UHF の定例会。総会は1回/年で、開催場所は全国巡回
工場等のクラブ局はMAX27局だったが、現状は半減した。
地域別には社内行事参加。総会は、昨年と今年はコロナ禍で中止した。
 - ・海外運用 1回/1-2年 環太平洋の移動範囲としていたが、近年は実施無し。
4. 運用
呼出し：こちらは8J1ME/1, 8J1ME/1 8J1ME/1, 鎌倉市移動
三菱電機アマチュア無線クラブ創立55周年の記念局です。
OP 紹介：運用は三菱電機鎌倉の〇〇 (OB の△△)
QSL：「記念カードをJARL経由で送りますが、そちらからのカードは不要です」と伝える。
「一方的に送ります」という表現は使わない。
運用予定：運営事務局の調整で確定し運用している。周波数・時刻・場所の即答は出来かねる。
Web-site：[三菱電機アマチュア無線クラブのHP](#)を参照下さい。

別紙1「運用管理の手順」

記念局 8J1ME は、三菱電機アマチュア無線クラブ創立 55 周年を記念する全体行事であり、また、記念局を運用することにより、各場所クラブのアクティビティを高めることを目的とすることから、**運用希望者各位のシフト制による持ち回り運用を基本**とします。

移動する局は、**同時に異なる地点での運用（送信）はできません**。よって、運用の重複が生じないように、以下に示すとおり運用管理を致します。

事務局との調整なく個人の判断で、輪番担当期間以外の日時に運用することは禁止します。

1) 輪番制による持ち回り運用

運用期間の 2021 年 6 月 1 日～2021 年 12 月 31 日を、次ページに示す表のとおり、**2.5 時間単位**で分割し、この単位で運用希望者による持ち回り運用を基本とします。

運用希望者ごとの担当時間は、各人の事情を推察した上で、8J1ME 運営事務局にて仮配分し、「仮シフト表」として、Google カレンダーにより運用希望者各位に周知します。

2) 運用計画の検討

運用希望者は、割当てられた時間帯の中で、運用時間、運用場所、運用周波数等の具体的運用計画を検討して下さい。割当て時間帯の一部時間でのみの運用も OK です。

3) 運用計画の連絡

「仮シフト」で割当てられた運用者は、具体的運用時間、運用者、運用場所（市郡区単位）、周波数、モード等の運用計画を、遅くとも運用の 3 日前までに 8J1ME 運用マネージャー（JL1EGW 及び JK1JAS）まで連絡する。（未定の事項があっても構いません）。

仮シフト時間帯での運用が不可能な場合は、「仮シフト」を Google カレンダーで削除する。Google カレンダーに記入もしくは削除した時点で自動的に運用マネージャーに連絡される。

運用計画の記入事項は下記を基本とし、**Google Calendar の機能を使用して登録する。**

Google Calendar の具体的使用法は、事務局から運用予定者各位に別途連絡する。

- ① 運用月日と時間帯 [例：2021/06/01 09:00～11:00]
- ② 運用場所（市区町村名まで提示） [例：神奈川県鎌倉市]
- ③ 運用者の氏名とコール [例：小野、JG1BBD]
- ④ 運用周波数帯とモード [例：7/21/28/50 CW, SSB, FM, FT8]

あらかじめ割当てられた運用時間帯の運用ができない場合は、他の運用希望者が運用出来る様、空き日程を開放しますので、必ずご連絡をお願いします。

4) 空き日程の運用予約・・・Google Calendar のログイン方法等は運用予定者に別途連絡する。

あらかじめ運用希望者に割当てた時間帯の運用が出来ない場合は、他の運用希望者が運用できるよう、空き日程を開放します。

空き日程は、Google カレンダー上で確認できますので、運用を希望する運用希望者は次の手順で運用予約をして下さい。

なお、**予約は先着順を基本としますが、希望日時等が重複する場合は、重複局相互間で調整をお願いします。また、特定の曜日・時間帯は現役の方々優先枠とします。**

- #1 ホームページの運用スケジュール (Google Calendar) により空き状況を確認する。
- #2 希望する日程が空いていたら Google Calendar 「記念局 8J1ME 運用予定」に予定を記入。
 - ・運用を希望する日をクリックして必要事項を入力する。
 - ・入力（記入）内容は、**時間帯、移動地、運用予定バンド、モード、運用者名またはコールサインであるが、一部未定の項目があってもかまわない。**未定項目は運用開始までに記入。
 - ・ Google Calendar を使用しない局は、メーリングリストで運用希望を連絡する。
- #3 運用マネージャーは、スケジュールを確認し、Google Calendar 「記念局 8J1ME 運用予定」に予約承認の旨を記載するとともに、運用希望者にメール等で予約承認の旨を連絡する。
- #4 運用希望者は、Google Calendar 「記念局 8 J 1 ME 運用予定」で確認してから運用する。

以上

<三菱電機 AMC のホームページ <https://melcoamc.jp/> の「三菱電機 AMC 創立 55 周年事業」記念局の「運用スケジュールのページ」で一般公開する（週 1 回、神戸吉田 OM が更新）

記念局 8J1ME シフト制のイメージ・・・具体的には Google カレンダーで表示します。

6月	時間帯														
	深夜 '0000-0630		午前 '0700-0930			午前 '1000-1230			午後 '1300-1530		午後 '1600-1830		夜 '1900-2330		
1 火	(フリー)		(開局セレモニー)			(開局セレモニー)			ZVP	長谷川	JK1EBA	ZVP	鈴木(達)	JG1FMA	(フリー)
2 水	(フリー)	ZVP	浜口	JA1FYA	ZVP	鈴木(幹)	JH1BAM	ZVP	関谷	J11A1C		現役		現役	
3 木	(フリー)	ZVP	長谷川	JK1EBA	ZVP	鈴木(達)	JG1FMA	ZVP	浜口	JA1FYA	ZVP	鈴木(幹)	JH1BAM	(フリー)	
4 金	(フリー)	ZVP	関谷	J11A1C	ZVP	OB		ZVP	OB		ZVP	OB		(フリー)	
5 土	(フリー)	YJA	君島	JL1EGW	YJA	松川	JL1GWS	YJA	下沢/玉木		YJA	齋木	JH1KOH	(フリー)	
6 日	(フリー)	シフトアサイン例です。 実際のシフトは調整中です。 決定次第 Google カレンダー等 及びメーリングリストで連絡しま												(フリー)	
7 月	(フリー)													(フリー)	
8 火	以下同じ													(フリー)	
9 水														JR2GDA	現役
10 木															
11 金															
12 土	(フリー)														
13 日	(フリー)													(フリー)	
14 月															
15 火															
16 水												現役		現役	
17 木															
18 金															
19 土	(フリー)													(フリー)	
20 日	(フリー)													(フリー)	
21 月															
22 火															
23 水												現役		現役	
24 木															
25 金															

別紙2 【55周年記念局 8J1ME 運用規定ーログ・QSL 管理編】

55周年記念局 8J1ME(以降記念局という)の運用にあたり、ログとQSLカードの管理について以下のとおり規定します。運用される各局は本規定を遵守してログの管理、QSLの発行等実施くださるようお願いいたします。

A. ログについて

- 1) ログは必ず作成すること。
- 2) 運用終了後、作成したログを、可能な限り速やかにログ・QSL マネージャー(後掲)宛、メール添付ファイルで送付する。
- 3) ログの形式は、運用終了後のデータの分析等考えるとハムログが望ましい。しかし、ハムログはどうしてもという局は紙ログもやむをえないが、できれば csv ファイル(ハムログにインポートできる形式)(注1)をお願いしたい。
なお、この際ハムログを勉強いただくと管理責任者は助かります。
- 4) ログの送付は、なるべく運用終了の都度お願いいたします。
- 5) ハムログデータは、csv に変換したファイルを送付のこと。但し、記念局 8J1ME 相当分のみとし、各局の個人コールでの通常運用時のデータが混ざらない様注意してください。(注2)
なお、csv への変換方法は付紙「創立 55 周年記念局 ハムログデータを csv ファイルに変換して保存する方法」を参照願う。この説明書は HP「創立 55 周年記念局の運用者向け情報」のページに掲載しています。
- 6) ログ・QSL マネージャーは、記念局の運用が終了し、全てのデータがそろった時点で、総局数、エリア別、周波数別、オペレータ別等々の分析を行う。

(注1) csv ファイル作成時は、各項目を下記記載の順に並べて下さい。かっこ内は記入例で、英数字は半角です。

コールサイン(JK1EBA), 年月日(2021/6/11), 時刻(13:45), 相手のレポート(59), 自分のレポート(59), 周波数(7), モード(SSB), 相手住所コード(1114), グリッドロケータ(ここは空欄), QSL(ここも空欄), 相手の名前(はせがわ), 相手の住所(神奈川県大和市),
Remarks 1(%さいたま市浦和区, JCC:134407, GL:PM95TV%),
Remarks 2(%OP:JR3OET%), DX(相手が DX の場合には, 数字の 8)

(注2) 既に個人局用にハムログを使用中で、8J1ME 用に別に設定する要領は次のとおり。

ハムログを起動し、以下の順で操作する。[オプション]メニュー ⇒ [データの保守] ⇒ [別コールサイン用にインストール]

コールサイン入力画面があるので、8J1ME と入力する。デスクトップに 8J1ME のハムログアイコンができ、Cドライブ直下に「8J1ME」フォルダーが自動作成される。(お使いの PC により異なる場合があります)

B. QSL カードの発行

- 1) 運用者又は運用責任者(各クラブ代表者等)が責任を持って自分が運用した QSO の QSL カードを発行すること。
- 2) QSL カードの作製は、ハムログ等 PC による印刷、データ印刷済みのラベル紙の貼付、手書きのいずれでもよい。
特に、ラベル紙の貼付の場合には、JARL 転送枠への相手局コールサインの記入を忘れない様に。
- 3) また、移動運用先、オペレータ名も忘れないように。
移動運用先は、<市町村名+AJA 等の No.>とグリッドロケータ(GL)を記載し、オペレータ名はコールサインで可。なお、GL が不明の場合は記載しなくてもよい
- 4) JARL QSL ビューローへの送付は、次のいずれかの方法で実施ください。
 - ① 運用者が自分で送付する …… 基本はこの方法とする
 - ② 運用者が自分で JARL の事務所へ持ち込む

- ③ ①, ②がどうしても不可なら, ログ・QSL マネージャーへ届ける(郵送, 手渡し等々).
ログ・QSL マネージャーは, 各運用者からの QSL が届けられたら, 分量を見ながら適宜 JARL QSL ビューローに送付する.

C. ハムログへの入力 <付紙2 20210520_ハムログ_Remarks 入力データ形式.pdf 参照>

- 1) Ver.5 以上を使用ください。(最新版をダウンロードして使用ください.)
- 2) 通常の QSO 時の入力の他に, 下記に注意のこと.
 - ① 名前:原則 “ひらがな” で入力. ハムログユーザーで, コールサイン入力で自動的に出てくるのはそのままとする.
 - ② RMKS1:オペレータの移動先を下記要領で記入.
%/1 移動先市町村(AJA No.), GL:(半角 6 桁)%
例えば “さいたま市浦和区” で運用の場合は, %/1 さいたま市浦和区, JCC#134407, GL: PM95TV%.
 - ③ RMKS2:オペレータのコールサインを下記要領で記入. 個人コールがない局は名前を記入.
%OP:コールサイン%. 例えば, %OP:JR3OET% または%OP:YOKOSUKA%のように.
- 3) なお, 運用時の無線機や ANT は QSL カードには記載しませんが, 念のためログには記載しておいて下さい.
なお, 紙ログなしで最初からハムログの時には, 別途運用時の無線機と ANT をログ・QSL マネージャーにメールで連絡ください.

D. QSL 印刷用の定義 S/W(ハムログ用)

<付紙2 20210520_ハムログ_Remarks 入力データ形式 参照>

- 1) QSL カードのデータ面は白紙です. ハムログ用の印刷用定義 S/W を作成し, 配布します.
PC とプリンターが異なれば, 細かな点でずれがあることも考えられ, 最後は QSL を発行される皆さんでテスト&調整ください.

E. QSL カードの配布

- 1) 記念局運用者は, QSL カードの必要枚数および送付先をログ・QSL マネージャーに連絡ください.
ログ・QSL マネージャーから指定の送付先へ送ります.
- 2) 作業の効率化, 配送費用の削減等々より運用の都度よりは, ある程度まとまった枚数での連絡をお願いします.

F その他

- 1) ログの送付, QSL カードの要求等々ログ・QSL マネージャーへの連絡は, 必ず「正」と「副」の両者にパラに情報を流してください.
- 2) 実際の運用により変更すべき点が出てくれば, 柔軟に対応してトラブルなく乗り切りましょう.
- 3) 本規定で不明な点あれば, ログ・QSL マネージャーに問い合わせください.

現時点でのログ・QSL マネージャーは次の通り.

正: JR3OET 横須賀 良夫
〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 3-19-9-707
E-mail: jr3oet@jarl.com

副: JA1FYA 浜口 忠彦
〒247-0062 鎌倉市山ノ内 1179-14
E-mail: ja1fya@jarl.com

以上

創立 55 周年記念局 ハムログデータを csv ファイルに変換して保存する方法

ハムログを使用してログを作成されている方は、次の方法で csv ファイルに変換して各局の「ログ・QSL マネージャー」宛、メール添付で提出願います。

1. ハムログの操作説明

- ① 記念局のログを保存しているハムログを起動する。

No	Call	Date	Time	His	My	Freq	Mode	Code	G-L	QSL	Name	QTH	Remarks 1	Remarks
4815	BD7BW	21/05/11	06:21J+02	-06		21.076 FT8	565A			J*	China		%運用地:神戸市北区,JCC%OP:吉田,JN3NX	X
4816		21/05/11	16:03J	-08		21.075 FT8	3111		PM84	J*				X
4817		21/05/11	18:36J+15	+03		3.5332 FT8				J*				X
4818		21/05/11	18:39J+09	-08		7.0425 FT8				J*				X
4819		21/05/11	18:43J+26	+01		7.0425 FT8				J*				X
4820		21/05/11	18:45J+28	+02		7.0425 FT8				J*				X
4821		21/05/11	20:05J+03	-04		3.5332 FT8				J*				X
4822		21/05/11	20:08J+02	-05		3.5332 FT8				J*				X
4823		21/05/11	20:09J+02	-07		3.5332 FT8	1919		PM85	J*				X
4824		21/05/11	20:10J+23	-03		3.5332 FT8	1007			J*				X
4825		21/05/11	20:12J+19	-05		3.5332 FT8	1508		PM96	J*				X
4826		21/05/18	16:55J+22	+01		7.0425 FT8			PM95	J*				X
4827		21/05/18	16:56J-07	-14		7.0425 FT8	400101		PM53	J*				X
4828		21/05/18	16:58J-09	-15		7.0425 FT8			QM05	J*				X
4829		21/05/18	16:59J+05	-06		7.0425 FT8			PM74	J*				X
4830		21/05/18	17:01J+08	-09		7.0425 FT8	2003		PM84	J*				X
4831		21/05/18	17:03J+29	-01		7.0425 FT8			J*					X
4832		21/05/18	17:07J-19	-13		7.0425 FT8	1515		QM06	J*				X

2) csv に変換する Log データの日付範囲とレコード番号を指定する。

3) 「CSV ファイル」にチェックを入れる。

4) 「検索無し」をクリックする。クリックすると 5) に示す画面が表示される。

1) 出力先のファイル名を入力する。例：¥8j3meLogList.csv または ¥8j1meLogList.csv

5) 「はい」をクリックする。

指定したフォルダー内に指定したファイル名で csv ファイルが保存される。
 この説明書の例では C:\¥JH3YUF というフォルダー内に¥LogList.csv というファイルが作成されている。
 このファイルを QSL マネージャー宛のメールに添付して配信する。

<付紙2 三菱電機AMC創立55周年記念局 ハムログ記入例>

別紙2【55周年記念局 8J1ME 運用規定—ログ・QSL 管理編】の付紙

ハムログデータを使用してQSLレポートをプリントする方は、次に示す入力例を参考にしてください。

別途、配布する「定義ファイル」の使用に適した入力となります。

1. Remarks1 には記念局の運用地（移動地）のデータを入力して頂きます。

入力様式を示しますので、選択してください。

%/3 神戸市兵庫区,JCC#270103,GL:PM74OP%

%/3 神戸市兵庫区,JCC#270103%

* /3 は必須とします。 例：福山市で運用の場合は /4 と入力。

2. Remarks2 にはオペレータのデータを入力して頂きます。

入力様式を示しますので、選択してください。

%JN3NXL,Yoshida% または %JN3NXL,吉田%

%Yoshida% または %吉田%

%神戸 AMC% と先頭に所属場所名を入力しても良い。

以上

To Radio
JH3YUF

Confirming Our QSO

DATE			TIME	dB	BAND	MODE
Day	Month	Year	*JST UTC		MHz	2Way
19	May	'21	14:25	-10	50	FT8

*Rmks: FBなhamlifeをお過ごしください。
TNX. FB QSO*

運用地: 8J3ME/3 神戸市北区 JCC#270107 GL:PM74NQ

OP: JN3NXL, Yoshida

```

: 既成の白紙カードに直接印刷する BY JN3NXL & JA3HYV
#Size 1000, 1480 :カードサイズ
#SetXY -45, -45 :プリンター毎の補正値

#FontName="MS ゴシック"
#FontSize=13
#FontColor=0
#FontStyle=2
#Print 60, 80, "To Radio"
#FontName="MS 明朝"
#FontSize=14
#FontColor=0
#FontStyle=0
#Print 50, 150, "!cp" : To Radio
#LineS 1, 0, 0
#LineX 50, 205, 290 : To Radioにアンダーラインを引く

#LineS 0.8, 2, 0 : JARL 転送枠
#LineR 395, 112, 465, 205
#LineR 485, 112, 555, 205
#LineR 575, 112, 645, 205
#LineR 665, 112, 735, 205
#LineR 755, 112, 825, 205
#LineR 845, 112, 915, 205
#FontSize = 20
#PrintC 395, 125, 70, "!C1" : JARL 転送枠 1 文字目
#PrintC 485, 125, 70, "!C2"
#PrintC 575, 125, 70, "!C3"
#PrintC 665, 125, 70, "!C4"
#PrintC 755, 125, 70, "!C5"
#PrintC 845, 125, 70, "!C6"

#FontName="MS 明朝"
#FontSize=10
#FontColor=0
#FontStyle=2
? Potbl :ポータブルの否か
#Print 50, 210, "責局移動地!cp!QT" :コールサインノエリア 移動地

#Print 55, 250, "Confirming Our QSO"

#FontName="MS 明朝"
#FontSize=11
#FontColor=0
#FontStyle=0
#LineS 1, 0, 0

#LineR 50, 290, 950, 450 :Report 欄の枠
#LineX 50, 350, 900
#PrintC 50, 300, 320, "DATE"
#PrintC 370, 300, 180, "TIME"

?nDATA7 "FT8, FT4, JT65" :デジタルモード
#PrintC 550, 300, 130, "dB"
#GOTO *1000
?End
?nDATA7 "CW, A1" :CW
#PrintC 550, 300, 130, "RST"
#GOTO *1000
?End
#PrintC 550, 300, 130, "RS" :SSB, AM, FM
*1000

#PrintC 680, 300, 140, "BAND"
#PrintC 820, 300, 130, "MODE"

#LineS 1, 0, 0
#LineY 140, 350, 100
#LineY 270, 350, 100
#LineS 1, 0, 0
#LineY 370, 290, 160
#LineY 550, 290, 160
#LineY 680, 290, 160
#LineY 820, 290, 160

?nDATA7 "FT8, FT4, JT65" :デジタルモード
#PrintC 550, 300, 130, "dB"
#GOTO *1000
?End
?nDATA7 "CW, A1" :CW
#PrintC 550, 300, 130, "RST"
#GOTO *1000
?End
#PrintC 550, 300, 130, "RS" :SSB, AM, FM
*1000

#PrintC 680, 300, 140, "BAND"
#PrintC 820, 300, 130, "MODE"

```

```

#LineS 1, 0, 0
#LineY 140, 350, 100
#LineY 270, 350, 100
#LineS 1, 0, 0
#LineY 370, 290, 160
#LineY 550, 290, 160
#LineY 680, 290, 160
#LineY 820, 290, 160

#FontName="Century Oldstyle Bold"
#FontSize=6
#PrintC 50, 360, 90, "Day"
#PrintC 140, 360, 130, "Month"
#PrintC 270, 360, 100, "Year"
#PrintC 370, 360, 180, "JST UTC"
#Print 770, 360, "MHz"
#Print 830, 360, "2Way"
#FontName="MS 明朝"
#FontSize=8
#FontColor=0
#FontStyle=0
? UTC!
#Print 395, 360, "*"
? UTC
#Print 520, 360, "*"
#FontSize=12
#PrintC 50, 390, 90, "!Dd" : 日 19
? Data2 "/05/"
#PrintC 140, 390, 130, "!DJ" : 月 May
? Data2! "/05/"
#PrintC 140, 390, 130, "!DJ," : 年 Apr.
#PrintC 270, 390, 100, "!Dy" : 年 '16
#PrintC 370, 390, 180, "!TH: !TM" : 時間 08:30
#PrintC 550, 390, 130, "!HR" : RST
#PrintC 680, 390, 140, "!FR" : 周波数帯
#PrintC 820, 390, 130, "!MD" : モード

#LineS 1, 0, 0
#FontName="MS 明朝"
#FontSize=10
#FontColor=0
#FontStyle=2

#Print 50, 460, "Rmks: !Co" :備考
#Print 50, 500, "TNX. FB QSO"
#FontSize=10

: ? Rcv! : QSL カードの送受
: #Print 700, 500, "PSE QSL" : QSL Pse
: ? Rcv
: #Print 700, 580, "QSL TNX" : QSL Tnx

#FontName="MS 明朝"
#FontSize=10
#FontColor=0
#FontStyle=0
#Print 50, 580, "運用地: 8J3ME!R1" : 移動運用地
#Print 50, 630, "OP: !R2" : OP 氏名
#LineS 0.8, 2, 0
#LineX 180, 615, 760 : アンダーラインを引く
#LineX 140, 665, 350

```

8JIME で運用した場合は
8JIME と書き換える

別紙2 【55周年記念局 8J1ME 運用規定ーログ・QSL 管理編】

55周年記念局 8J1ME(以降記念局という)の運用にあたり、ログとQSLカードの管理について以下のとおり規定します。運用される各局は本規定を遵守してログの管理、QSLの発行等実施くださるようお願いいたします。

A. ログについて

- 1) ログは必ず作成すること。
- 2) 運用終了後、作成したログを、可能な限り速やかにログ・QSL マネージャー(後掲)宛、メール添付ファイルで送付する。
- 3) ログの形式は、運用終了後のデータの分析等考えるとハムログが望ましい。しかし、ハムログはどうしてもという局は紙ログもやむをえないが、できれば csv ファイル(ハムログにインポートできる形式)(注1)をお願いしたい。
なお、この際ハムログを勉強いただくと管理責任者は助かります。
- 4) ログの送付は、なるべく運用終了の都度お願いいたします。
- 5) ハムログデータは、csv に変換したファイルを送付のこと。但し、記念局 8J1ME 相当分のみとし、各局の個人コールでの通常運用時のデータが混ざらない様注意してください。(注2)
なお、csv への変換方法は付紙「創立 55 周年記念局 ハムログデータを csv ファイルに変換して保存する方法」を参照願う。この説明書は HP「創立 55 周年記念局の運用者向け情報」のページに掲載しています。
- 6) ログ・QSL マネージャーは、記念局の運用が終了し、全てのデータがそろった時点で、総局数、エリア別、周波数別、オペレータ別等々の分析を行う。

(注1) * csv ファイル作成時は、各項目を下記記載の順に並べて下さい。カッコ内は記入例で、英数字は半角です。

コールサイン(JK1EBA), 年月日(2021/6/11), 時刻(13:45), 相手のレポート(59), 自分のレポート(59), 周波数(7), モード(SSB), 相手住所コード(1114), グリッドロケータ(空欄, FT8 の時は使用 S/W による), QSL(ここも空欄), 相手の名前(はせがわ), 相手の住所(神奈川県大和市),

Remarks 1(%/1 さいたま市浦和区, JCC:134407, GL:PM95TV%),

Remarks 2(%OP:JR3OET%), DX(相手が DX の場合には、数字の 8)

*** ファイル名はログ・QSL マネージャーでの識別・整理のため、次の通りコールサインと運用月日を明記してください。**

ファイル名例: Loglist_JR3OET_0616.csv

(注2) 既に個人局用にハムログを使用中で、8J1ME 用に別に設定する要領は次のとおり。

ハムログを起動し、以下の順で操作する。[オプション]メニュー ⇒ [データの保守] ⇒ [別コールサイン用にインストール]

コールサイン入力画面がでるので、8J1ME と入力する。デスクトップに 8J1ME のハムログアイコンができ、Cドライブ直下に「8J1ME」フォルダーが自動作成される。(お使いの PC により異なる場合があります)

B. QSL カードの発行

- 1) 運用者又は運用責任者(各クラブ代表者等)が責任を持って自分が運用した QSO の QSL カードを発行すること。
- 2) QSL カードの作製は、ハムログ等 PC による印刷、データ印刷済みのラベル紙の貼付、手書きのいずれでもよい。
特に、ラベル紙の貼付の場合には、JARL 転送枠への相手局コールサインの記入を忘れない様に。
- 3) また、移動運用先、オペレータ名も忘れないように。
移動運用先は、<市町村名+AJA 等の No.>とグリッドロケータ(GL)を記載し、オペレータ名はコールサインで可。なお、GL が不明の場合は記載しなくてもよい

- 4) JARL QSL ビューローへの送付は、次のいずれかの方法で実施ください。
- ① 運用者が自分で送付する …… 基本はこの方法とする
 - ② 運用者が自分で JARL の事務所へ持ち込む
 - ③ ①, ②がどうしても不可なら、ログ・QSL マネージャーへ届ける(郵送, 手渡し等々)。
ログ・QSL マネージャーは、各運用者からの QSL が届けられたら、分量を見ながら適宜 JARL QSL ビューローに送付する。

C. ハムログへの入力 <付紙2 20210520_ハムログ_Remarks 入力データ形式.pdf 参照>

- 1) Ver.5 以上を使用ください。(最新版をダウンロードして使用ください。)
- 2) 通常の QSO 時の入力の他に、下記に注意のこと。
 - ① 名前:原則 “ひらがな” で入力。ハムログユーザーで、コールサイン入力で自動的に出てくるのはそのままとする。
 - ② RMKS1:オペレータの移動先を下記要領で記入。
%/1 移動先市町村(AJA No.), GL:(半角 6 桁)%
例えば “さいたま市浦和区” で運用の場合は, %/1 さいたま市浦和区, JCC#134407, GL: PM95TV%.
 - ③ RMKS2:オペレータのコールサインを下記要領で記入。個人コールがない局は名前を記入。
%OP:コールサイン%. 例えば, %OP:JR3OET% または%OP:YOKOSUKA%のように。
- 3) なお、運用時の無線機や ANT は QSL カードには記載しませんが、念のためログには記載しておいて下さい。
なお、紙ログなしで最初からハムログの時には、別途運用時の無線機と ANT をログ・QSL マネージャーにメールで連絡ください。

D. QSL 印刷用の定義 S/W(ハムログ用)

- 1) QSL カードのデータ面は白紙です。ハムログ用の印刷用定義 S/W を作成し、配布します。
ファイル名は **55_8JIME_0521.qsl** です。
PC とプリンターが異なれば、細かな点でずれがあることも考えられ、最後は QSL を発行される皆さんでテスト&調整ください。

E. QSL カードの配布

- 1) 記念局運用者は、QSL カードの必要枚数および送付先をログ・QSL マネージャーに連絡ください。ログ・QSL マネージャーから指定の送付先へ送ります。
- 2) 作業の効率化、配送費用の削減等々より運用の都度よりは、ある程度まとまった枚数での連絡をお願いします。

F その他

- 1) ログの送付、QSL カードの要求等々ログ・QSL マネージャーへの連絡は、必ず「正」と「副」の両者にパラに情報を流してください。
- 2) 実際の運用により変更すべき点が出てくれば、柔軟に対応してトラブルなく乗り切りましょう。
- 3) 本規定で不明な点あれば、ログ・QSL マネージャーに問い合わせください。
現時点でのログ・QSL マネージャーは次の通り。

正: JR3OET 横須賀 良夫
〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷 3-19-9-707
E-mail:jr3oet@jarl.com

副: JA1FYA 浜口 忠彦
〒247-0062 鎌倉市山ノ内 1179-14
E-mail:ja1fya@jarl.com

以上

8 J 1 M E コールサイン・ボード

8J1ME/ 1 (+移動地を適宜)

CQ, CQ, CQ、こちらは Eight (エイト) Juliett (ジュリエット) One (ワン) Mike (マイク) Echo (エコー) , Portable (ポータブル) One (ワン) を (標準) とし

Eight (エイト) Juliett (ジュリエット) (又は Japan (ジャパン)) One (ワン) Mitsubishi (ミツビシ) Electric (エレクトリック) , Portable (ポータブル) One (ワン) で繰り返す

x x 市移動、三菱電機アマチュア無線クラブ「創立55周年」記念事業の「記念局」です、受信します。

運用者名アナウンス：オペレータは xx です(またはゲストオペレーターの xx です)

QSL カードの事：こちらからだけ JARL ビューローへ送りますが、そちらからのカードは不要です

(「**一方的に送ります**」は使わない。JARL 会員外からの請求は **JR30ET 局**へ SASE で請求と伝える)

三菱電機アマチュア無線クラブ創立 55 周年記念局の概要(適宜送出)：本記念局は 2021 年 6 月 1 日から 12 月 31 日まで東日本地域(神奈川県、東京都、埼玉県他)の職域クラブ局員関係者、「クラブ創立 55 周年」を記念して開設いたしました。姉妹局として、8J3ME を 6 月 1 日から開局しています。

ME とは Mitsubishi Electric (三菱電機)の略称で、1965 年に三菱電機・商品研究所(鎌倉市)にアマチュア無線クラブ；JA1YJA が発足、当時はクリスタル発振子を差し替える無線機でした。そして 1980 年代には、全国に 27 工場の殆どにハム・クラブ局があった。創設から半世紀が過ぎ、現状の無線クラブ数は減って、構成員が減少している。

全社内の愛好家から全国&全世界に記念局の電波に乗せて発信して無線運用の楽しさを活性化したい。毎年社内大会が開催されていて、1965 年に山中湖で第 1 回大会が開催され、今年は 55 周年の節目となる。

クラブ及び記念局の詳細については、三菱電機アマチュア無線クラブの HP ご覧ください。

検索サイトで「三菱電機アマチュア無線」で検索頂くと URL が表示されます。

*「2016 年の時も 8J1ME と交信していますね」等と言われた場合は「50 周年特別局時も交信頂きましたか！ その節は有り難うございました」とお礼の一言を言う様にする。

=====

ログの記入：運用者は必ず運用者別のログ用紙に、1 局ごとに記入すること(終了後は PC へ入力)。

8J1ME の素性：JARL 以外の記念局で、運用団体は：「三菱電機アマチュア無線クラブ」。

創立 55 周年記念局 「8J1ME の運営事務局の代表者は J01XPH、山田 善博です」と答える。

<デジタルモード「FT8等」を運用される方に>

- *バンドプランを守って運用しましょう。特に、**オフバンド**には気を付けてください。
- *FT8のバンドプランは次の通りです。バンドによっては国内交信用周波数が指定されています。

(USB ダイヤル周波数で表記) (CQ誌 2020年10月号 別冊付録より)

160mバンド	国内交信用	1.908	DX用 (JA/JAの交信もOK)	1.840
80mバンド	国内交信用	3.531	DX専用 (JA/JAはオフバンド)	3.573
40mバンド	国内交信用	7.041	DX専用 (JA/JAはオフバンド)	7.074
30mバンド		10.136		
20mバンド		14.074		
17mバンド		18.100		
15mバンド		21.074		
12mバンド		24.915		
10mバンド		28.074		
6mバンド		50.313	大陸間通信用	50.323
2mバンド		144.460		
0.7mバンド		430.510		
0.23mバンド		1296.600		

- *FT8で運用する場合のコールサイン表記や移動地送信は、国内運用の慣例により以下を基準とする。

自局のコールサイン設定 : 「 8J1ME/P 」

移動地 JCC/JCG コード等の送出 : DF を変えずに 「 1ME/P C1105 (運用地の JCC コード) 」

移動地の送出や送出間隔は運用者の判断によるが、パイル時は30秒のロスとなるので、送出間隔には配慮する。DX局相手の場合は原則不要。